

CASBEE-建築(新築)2016年版

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階				
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質				評価点	重み係数	全体
Q1 室内環境				評価点	重み係数	全体
1 音環境				4.0	0.15	3.4
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0
1.2 遮音				5.0	0.50	3.8
1 開口部遮音性能	サッシ遮音等級 T-2			5.0	1.00	5.0
2 界壁遮音性能				-	-	3.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	住居部分: Lr-50			-	-	4.0
1.3 吸音				-	-	-
2 温熱環境				1.0	0.35	3.7
2.1 室温制御				1.0	1.00	3.7
1 室温				1.0	0.63	3.0
2 外皮性能	品確法で規定する断熱等性能等級4を超える水準			1.0	0.38	5.0
3 ゾーン別制御性				-	-	-
2.2 湿度制御				-	-	-
2.3 空調方式				-	-	-
3 光・視環境				2.2	0.25	3.7
3.1 屋光利用				4.2	0.30	3.4
1 屋光率	共用部: 2.5%以上、住戸部: 2.0%以上			5.0	0.60	5.0
2 方位別開口				-	-	1.0
3 屋光利用設備				3.0	0.40	3.0
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0
1 屋光制御	住居部分: カーテン、庇でグレアを制御			2.0	1.00	4.0
3.3 照度				1.0	0.15	-
3.4 照明制御				1.0	0.25	-
4 空気質環境				3.6	0.25	3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0
1 化学汚染物質	内装材全てにF☆☆☆☆の建材を採用			4.0	1.00	4.0
4.2 換気				3.0	0.40	3.3
1 換気量				3.0	0.50	3.0
2 自然換気性能	居室面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保			-	-	4.0
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0
4.3 運用管理				-	-	-
1 CO ₂ の監視				-	-	-
2 喫煙の制御				-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-
1 機能性				3.0	0.40	3.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	4.0
1 広さ・収納性				-	-	-
2 高度情報通信設備対応	100Mbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境を整備			-	-	4.0
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0
1 広さ感・景観				-	-	3.0
2 リフレッシュスペース				-	-	-
3 内装計画				3.0	1.00	3.0
1.3 維持管理				3.0	0.30	-
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30	-
1 躯体材料の耐用年数	品確法で規定する劣化対策等級2相当			4.0	0.20	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				1.0	0.20	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				1.0	0.10	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種のうち2種にB以上を使用、かつ、Eは不使用			5.0	0.20	-
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20	-
2.4 信頼性				3.0	0.20	-
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-
3 電気設備				3.0	0.20	-
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-

3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.1	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高2.9m	-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく修繕、更新できる	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		品確法で規定する断熱等性能等級4を超える水準	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.71	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			4.6	0.20	-	-	4.6
1.1	節水	泡沫水栓等に加えて省水型機器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		5.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	井水利用	5.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	【型枠】、【ビニル床材】外廊下、【タイル】エントランスホール	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満かつGWPが低い発泡剤を用いたノンフロンの断熱材を採用	4.0	1.00	-	-	
3	冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=76%	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪場、駐車場、荷捌き用車両の駐車スペースを確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物広告を行っていない	4.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	